

2025年度

大阪大学大学院医学系研究科

博士課程学生募集要項

入学試験の実施にあたり、変更や通知がある場合は本研究科ウェブサイトに掲載しますので、各自で必ず確認してください。

志願者は出願前に、指導を希望する教員と連絡を取ってください。

本研究科ウェブサイト

https://www.med.osaka-u.ac.jp/admission/admission_doctor

大阪大学大学院医学系研究科

2025年度大阪大学大学院医学系研究科博士課程学生募集要項

大阪大学大学院医学系研究科アドミッション・ポリシー

【求める人材像】

大阪大学のアドミッション・ポリシーをうけ、医学系研究科では、教育目標に定める人材を育成するため、次の知識の内容と水準を満たし、世界の医学、医療、および生命科学の発展への貢献を目指す人、健康で質の高い生活を保障する地域医療の担い手を目指す人、次世代を担う優秀な人材の育成に尽力したいと望む人を求めています。

- (1) 欧文論文読解と作成のための英語能力を有している。
- (2) 医学・生命科学の研究遂行に必要な学部レベルの知識を習得していることに加え、修士課程レベル以上の専門分野の基礎知識を有している。
- (3) 医学研究に必要な優れた目的意識と倫理感を備えている。

【入学者選抜の基本方針】

上記のような人材を受け入れ、また多様な学生を確保するために、博士課程（4月入学）と博士課程（10月入学）の入試を行います。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

博士課程（4月入学）入試では、語学（英語）試験で（1）を評価し、専門科目、面接及び提出書類等で（2）、（3）を評価し、選抜を行います。

博士課程（10月入学）入試では、英語外部試験で（1）を評価し、面接及び提出書類等で（2）、（3）を評価し、選抜を行います。

1. 日程

区 分	第1回入試	第2回入試
出願期間	2024年8月19日（月）～ 2024年8月23日（金）	2024年11月25日（月）～ 2024年11月28日（木）
検定料 納入期間	2024年7月1日（月）午前9時～ 2024年8月23日（金）午後5時	2024年10月1日（火）午前9時～ 2024年11月28日（木）午後5時
試 験 日 及び 試験会場	専門科目及び面接 2024年10月3日（木）までに 志望する各教室で実施	専門科目及び面接 2025年1月8日（水）までに 志望する各教室で実施
	語学（英語） 2024年10月3日（木） 14時～15時30分 （於：医学部医学科講義棟）	語学（英語） 2025年1月8日（水） 14時～15時30分 （於：医学部医学科講義棟）
出願書類提出先 書留郵便で郵送（海外からは国際クーリエサービス） 又は持参	〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2番2号 大阪大学医学系研究科教務課学生支援係 〔持参の場合の窓口受付〕 各日 9:00～12:00, 13:00～17:00	
合格発表	2024年11月18日（月）	2025年 2月18日（火）
	13時30分以降に本研究科ウェブサイト (https://www.med.osaka-u.ac.jp/admission/admission_doctor) に合格者の受験番号を掲載するとともに、合格通知書を出願時に提出された「あて名票」の住所へ簡易書留郵便で送付します。	

- * 受付期間終了後に到着した出願書類については、第1回入試では2024年8月21日（水）以前、第2回入試では2024年11月26日（火）以前の発信局（日本国内）消印がある書留郵便に限り受理します。日本国外からの出願は上記の各回出願期間最終日を必着期限とします。

2. 専攻及び募集人員

専攻	医学専攻
募集人員	172

- * 募集人員には社会人若干名を含みます。
- * 「社会人」とは、官公庁、研究所、企業、病院等に勤務し、入学後もその職を有する者をいいます。出願時に在職中で入学時までに退職予定の場合は、入学時に退職を証明する書類の提出が必要です。
- * 本研究科では、社会人入学は一部の教室に限られています（別紙「2025年度博士課程専門科目等一覧」参照）。詳細は、志望する教室に確認してください。
- * 本研究科は医師初期臨床研修中の者の入学を認めていないため、該当者は入学時までに臨床研修の休止又は中止が必要です。ただし、基礎系の専門科目（別紙「2025年度博士課程専門科目等一覧」において『●』が付されたもの）を志願し、大阪大学医学部附属病院の「大阪大学総合コース」、「大阪大学MD研究者育成研修コース」および「協力型研修病院・大阪大学コース」のプログラムを受けている者でかつ入学後の初期臨床研修が大阪大学医学部附属病院のみで実施される者は、最長2年間初期臨床研修との兼務が可能です。詳細は、志望する教室に確認してください。

3. 応募方法

- (1) 志願者は別紙「2025年度博士課程専門科目等一覧」から1専門科目を選んで出願してください。
- (2) 志願者は出願に先立ち、必ず志望する専門科目担当教員に相談してください。
※専門科目については本研究科ウェブサイト(<https://www.med.osaka-u.ac.jp/introduction/research>)を参考にしてください。
- (3) 留学生は、志望する教室を通じて出願してください。

4. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者。

- ① 大学の医学部（医学科）、歯学部、獣医学部（獣医学科）又は薬学部（※修業年限が6年であるものに限る。以下同じ）を卒業した者及び2025年3月までに卒業見込みの者
- ② 外国において、学校教育における18年の課程を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者
- ⑤ 外国の大学その他の外国の学校^(*1)において、修業年限が5年以上である課程を修了すること^(*2)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2025年3月までに授与される見込みの者
*1 その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。
*2 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって④の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。
- ⑥ 我が国において修士課程を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者
- ⑦ 昭和30年4月8日文部省告示第39号及び平成元年9月1日文部省告示第118号で文部科学大臣の指定した者【「5. 資格認定審査」参照】
- ⑧ 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科において、本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの【「5. 資格認定審査」参照】
- ⑨ 大学の医学部（医学科）、歯学部、獣医学部（獣医学科）又は薬学部（※）に4年以上在学し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと本研究科において認められたもの【「5. 資格認定審査」参照】
- ⑩ 外国において学校教育における16年の課程（医学、歯学、獣医学または薬学を履修する課程に限る。）を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程（医学、歯学、獣医学または薬学を履修する課程を含むものに限る。）を修了した者又は我が国において外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程（医学、歯学、獣医学または薬学を履修する課程を含むものに限る。）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、所定の単位を優秀な成績で修得したものと本研究科において認められたもの【「5. 資格認定審査」参照】
- ⑪ 個別の入学資格審査により、大学の医学、歯学、獣医学又は薬学（※）を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科において認められた者で、2025年3月31日までに24歳に達するもの【「5. 資格認定審査」参照】

(注) ①、⑨、⑩の「大学」とは、学校教育法第83条の定める日本国内の大学を示します。

5. 資格認定審査

出願資格のうち、⑦（④前期及び後期の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者又は⑥大学を卒業若しくは外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者）、⑧、⑨、⑩、⑪のいずれかにより出願する者は、出願に先立ち個別の資格認定審査（以下、「認定審査」という）を受ける必要があります。

認定審査合格者のみ博士課程入学試験に出願することができます。

該当者は「博士課程資格認定審査申請書類」を本研究科ウェブサイト（https://www.med.osaka-u.ac.jp/admission/admission_doctor）からダウンロードし、所定の期間内に必要書類を学生支援係へ持参または郵送（書留郵便）により申請してください。

《認定審査の種類》

(1) 出願資格⑦の④及び⑥、⑪

： 大学の医学、歯学、獣医学又は薬学を履修する課程を卒業した者又は修士課程を修了した者と同等以上の学力の有無に関する認定審査

⑦の⑥及び⑪で認定審査を受けることのできる者の学歴・研究期間（経験年数）等の基準：

出願資格	最終学歴	最終学歴以降の研究期間（経験年数）等
⑦-⑥	大学（4年制学部等）の卒業者 外国の学校教育における16年の課程の修了者	2年以上
⑪	(ア) 修業年限2年の短期大学卒業生	4年以上
	(イ) 修業年限3年の短期大学卒業生	3年以上
	(ウ) 高等専門学校の卒業生	4年以上
	(エ) 修業年限が2年以上の専修学校の専門課程の卒業生	大学の修業年限（6年）から専門課程を置く専修学校の修業年限を控除した期間以上
	(オ) 外国の大学の日本校、外国人学校、専修学校（専門課程を除く）、各種学校その他国内外の教育施設の卒業又は修了者	大学卒業までの最短修業年数（18年）から最終学校卒業又は修了までの最短修業年数を控除した期間以上
(カ) 上記（ア）から（オ）までに掲げる学校の退学者	大学卒業までの最短修業年数（18年）から当該退学した学校の退学時までの修業年数を控除した期間以上	

(注) 研究期間（経験年数）とは、次の期間を合算したものをいいます。

(2025年3月31日までの見込み期間に該当があれば、計算に含めてください。)

(A) 大学又は短期大学において、研究生として在学した期間

(B) 短期大学又は高等専門学校におかれた専攻科に在学した期間

(C) 大学、短期大学、官公庁、研究所、会社等において教育又は研究部門で教育職又は研究職に従事した期間

(D) その他、上記（A）、（B）、（C）に準じた期間

(2) 出願資格⑧

： 本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があるかどうかに関する認定審査

(3) 出願資格⑨、⑩

： 本研究科が別に定める出願に必要な科目及び単位数を修得しているかどうかに関する認定審査

《資格認定審査日程》

区 分	第 1 回入試	第 2 回入試
資格認定審査 申請受付期間	2024年 6月25日（火）～6月27日（木）	2024年 10月2日（水）～10月4日（金）
提出先 書留郵便で郵送 （海外からは国際 クーリエサービ ス） 又は持参	〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2番2号 大阪大学医学系研究科教務課学生支援係 〔持参の場合の窓口受付〕 各日 9:00～12:00, 13:00～17:00	

- * 受付期間終了後に到着した申請書類については、第1回入試では2024年6月25日（火）以前、第2回入試では2024年10月2日（水）以前の発信局（日本国内）消印がある書留郵便に限り受理します。日本国外からの出願は各回の資格認定審査申請受付期間最終日を必着期限とします。
- * 封筒には「資格認定審査申請書類在中」と朱書きしてください。
- * 認定審査申請者には資格認定審査合否通知書を出願期間までに送付します。合否の問い合わせには応じません。
- * 第1回入試に係る資格認定審査に合格し、第1回入試に不合格となった者については、第2回入試に係る資格認定審査を免除します。

《認定審査申請書類》 ※提出された書類は返却しません。

書類名	該当者（出願資格）						備考
	⑦-A	⑦-B	⑧	⑨	⑩	⑪	
資格認定審査申請書	✓	✓	✓	✓	✓	✓	所定様式（本研究科ウェブサイト〔 https://www.med.osaka-u.ac.jp/admission/admission_doctor 〕参照）
研究業績調書	✓	✓				✓	
研究論文等	✓	✓				✓	出身学校長又は研究機関等の長が日本語又は英語で作成したもの。
卒業証明書	✓	✓				✓	
成績証明書	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
研究期間証明書	✓	✓				✓	
在学期間証明書	✓		✓	✓	✓		長形3号サイズの封筒に434円切手を貼付し、郵便番号・住所・氏名を明記してください。
合否通知用封筒	✓	✓	✓	✓	✓	✓	

6. 出願手続

志願者は下記の必要書類を医学系研究科教務課学生支援係まで持参又は書留郵便にて郵送してください。

留学生は、志望する教室を通じて出願してください。

【出願書類に関する注意事項】

- ・ 本研究科所定の出願書類（*印）は、本研究科ウェブサイトよりダウンロードしてください。
https://www.med.osaka-u.ac.jp/admission/admission_doctor
- ・ 本研究科所定様式は、A4サイズの白い普通紙に片面印刷してください。
- ・ 書類はすべて**原本**を提出してください。
- ・ 窓口提出の場合も、ご自身で用意した角形2号の封筒の表に、本研究科所定の「出願書類封筒ラベル」を貼付し（切手不要）差出人欄に住所、氏名を記入し、出願書類全てを入れて提出してください。
- ・ 日本語または英語以外の証明書は、学校・大使館・領事館などの翻訳証明（公印、機関の長のサイン、機関のオフィシャルシールなどが必要）を付した、日本語または英語への翻訳を提出してください。提出された書類は返却しません。
- ・ 出願に際して不明の点があれば医学系研究科教務課学生支援係（i-kyomu-gakuseishien@office.osaka-u.ac.jp）へお問い合わせください。
- ・ 第1回入試不合格者で、第2回入試に出願する場合は全ての出願書類を改めて提出する必要があります。第1回入試の出願書類を流用することはできません。

出願書類	備考
入 学 願 書	《本研究科所定の様式*》
志 望 理 由 書	《本研究科所定の様式*》
受 験 票 写 真	《本研究科所定の様式*》 出願前3ヶ月以内に撮影した志願者の写真を所定欄に貼付してください。（写真の大きさ 縦約4.5cm、横約3.5cm）
卒業（見込）証明書 修了（見込）証明書 または在籍証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出身大学長等が作成したもの。（出身大学長等の公印、サインがある証明書、または偽造防止用紙による証明書で、日本語又は英語によるもの） ・ 複数の大学及び大学院の課程修了（見込を含む）者は、該当する<u>全ての学部と大学院についてそれぞれ</u>証明書を提出してください。 *ただし、本学医学部医学科出身者及び本研究科修士課程医科学専攻出身者については、当該課程在籍時の証明書に限り、提出の必要はありません。 *本学医学部保健学科、本研究科博士前期課程保健学専攻、及び本学の他学部・他研究科の証明書は提出が必要です。 ・ 海外の大学等の卒業・修了者で、証明書内に学位名が記載されていない場合は、併せて学位に関する証明書の提出が必要です。
【 該 当 者 の み 】 学 位 授 与 証 明 書	大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者は、同機構が発行した「学位授与証明書」を提出してください。
成 績 証 明 書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出身大学長等が作成したもの。（出身大学長等の公印、サインがある証明書、または偽造防止用紙による証明書で、日本語または英語によるもの） ・ 複数の大学及び大学院の課程修了（見込みを含む）者は、該当する<u>全ての学部と大学院についてそれぞれ</u>証明書を提出してください。 *ただし、本学医学部医学科出身者及び本研究科修士課程医科学専攻出身者については、本学在学時のものについて、提出の必要はありません。 *本学医学部保健学科、本研究科博士前期課程保健学専攻、及び本学の他学部・他研究科の証明書は提出が必要です。 ・ 大学等の編入学者は編入学前の学校の成績証明書も併せて提出してください（退学により編入学前の学校を離籍した場合も含む）。

出願書類	備考
検 定 料 収 納 証 明 書	<p>検定料 30,000 円を「検定料納入システム」により納入してください。 納入後、「検定料納入システム」から、「検定料収納証明書」を出力して提出してください。</p> <p>○検定料納入システム https://e-apply.jp/n/osaka-u-payment</p> <p>検定料納入システムの使用方法については、以下の本研究科ウェブサイトを参照してください。 http://www.med.osaka-u.ac.jp/admission/admission_doctor</p> <p>なお、検定料納入時にシステム手数料が別途かかります。 *国費外国人留学生として入学する者は、検定料は不要です。 *本学修士(または博士前期)課程を2025年3月修了見込みの者については、検定料は不要です。</p>
あ て 名 票	<p>《本研究科所定の様式*》</p> <ul style="list-style-type: none"> 入学手続関係資料の送付等、大学からの連絡に使用します。 重要書類は書留郵便等にて送付しますので、確実に受取が可能な日本国内の住所(自宅のほか、研究室、勤務先等も可)を記入してください。海外在住者は、志望教室や日本在住の友人等に代理受取を依頼してください。 <p>*出願後に住所変更等がある場合はすみやかに医学系研究科教務課学生支援係に連絡してください。</p>
受 験 票 送 付 用 封 筒	<p>《本研究科所定の様式*》</p> <p>ご自身で用意した長形3号の封筒の表に、本研究科所定の「受験票送付用封筒ラベル」と、444円の郵便切手を貼付してください。</p> <p>*書留郵便等にて送付しますので、確実に受取が可能な日本国内の住所(自宅のほか、勤務先、研究室等も可)を記入してください。</p> <p>*2024年秋に郵便料金の改定が予定されているため、切手代金に変更される可能性があります。出願前に本研究科ウェブサイトで変更がないか確認してください。</p>
出 願 書 類 チ ャ ッ ク リ ス ト	<p>《本研究科所定の様式*》</p>
出 願 書 類 送 付 用 封 筒	<p>《本研究科所定の様式*》</p> <p>ご自身で用意した角形2号の封筒の表に、本研究科所定の「出願書類封筒ラベル」を貼付し、出願書類全てを入れてください。</p> <p>*窓口提出の方も必要です。</p>
【 該 当 者 の み 】 氏 名 に 関 す る 証 明 書	<p>下記 (a) ・ (b) のいずれかの該当者</p> <p>(a) 入学願書に記入した氏名と提出する証明書等の氏名表記が異なる言語で記載されている場合は、<u>同一人物であることを証明する書類</u>を添付してください。</p> <p>(b) 改姓(改名)により出身学校在籍時の氏名や提出する証明書等に記載された氏名が異なる場合は、変更の事実を示す<u>公的証明書類</u>(戸籍抄本等)を添付してください。</p>
【 該 当 者 の み 】 パ ス ポ ー ト と 在 留 カ ー ド ／ 特 別 永 住 者 証 明 書 の 両 面 コ ピ ー	<p>外国籍の者でパスポート所持者は、顔写真と氏名のページのコピーを提出してください。</p> <p>既に渡日し、住民登録を行っている外国籍の者は、在留資格、在留期間が記載されたものを提出してください。</p>

出願書類	備考
【該当者のみ】 国費外国人留学生証明書	本学医学部医学科・医学系研究科以外において、国費外国人留学生（MEXT Scholarship Student）の者のみ提出してください。
【該当者のみ】 外国政府からの奨学金等 支給に関する証明書	日本国以外の外国政府から奨学金等を支給される者は、奨学金等の支給に関する証明書を提出してください。
【該当者のみ】 受験許可書 (入学承諾書)	<p>《本学所定の様式》</p> <p>出願時において官公庁、研究所、企業、病院等に勤務し、大学院入学後も勤務することを希望する者（社会人入学）、または医師初期臨床研修中（予定）で、大阪大学医学部附属病院の「大阪大学総合コース」、「大阪大学MD研究者育成研修コース」および「協力型研修病院・大阪大学コース」のプログラムを受ける者は、勤務先機関の代表者が発行した「受験許可書（入学承諾書）」を提出してください。（退職予定者は提出不要）</p>

(注) 本研究科では、社会人入学は一部の教室に限られています。社会人入学が認められていない教室に出願する者で出願時に在職中の者は、入学時に当該勤務先の退職証明書を必ず提出してください。

7. 選抜方法

専門科目試験及び面接、語学（英語）試験、提出書類等を総合して合格者を決定します。
ただし、次の①～④のいずれかに該当する者については、申請により語学（英語）試験を免除します。

- ① 2025年3月本研究科修士課程医科学専攻修了見込みの者
 - ・専門科目試験及び面接、出願書類等を総合して合格者を決定します。
 - ・入学願書の「本研究科修士課程修了見込み」欄にチェックを付け、学籍番号を記入してください。
 - ② 過去5年以内に医学論文博士外国語試験に合格している者
 - ・専門科目試験及び面接、出願書類等を総合して合格者を決定します。
 - ・入学願書の「医学論文博士外国語試験合格」欄にチェックをつけ、合格年月を記載してください。
 - ③ TOEFL iBT:80点以上またはIELTS academic module:6.5以上を満たす者
 - ・専門科目試験及び面接、出願書類等を総合して合格者を決定します。
 - ・上記「6. 出願手続」に記載している必要書類に加えて次の書類を提出してください。
 - (a) 推薦状1通（日本語または英語で記載、国内外の教授相当の者からの推薦状、志願者の研究内容を推薦状の記載に含めること）
 - (b) TOEFLの場合、Test Taker Score Reportの原本。
MyBest Scores、TOEFL-ITP、TOEFL iBT Home Editionは利用できません。
個人のアカウントページ等からダウンロード（印刷）したスコアは受理しません。
TOEFLのスコアをETS(Educational Testing Service) から直接送付する場合の機関コードはC723です。ただし、ETSやIELTSテストセンター等から直接スコアを送付した場合、誤配や配達遅延等があっても出願期間の延長はできませんので、スコアはご自身の出願書類に同封して提出することをお勧めしています。
- IELTSの場合、Test Report Formの原本。
IELTS General Training Moduleは利用できません。
- ※第1回入試については2022年8月～2024年7月実施分、第2回入試については2022年12月～2024年11月実施分のスコアのみ有効。
- ・入学願書の「英語の基準を満たす者」の欄にチェックをつけてください。
 - ・提出書類に不備がある場合は、語学（英語）試験免除となりません。
 - ・第1回入試に係る語学（英語）試験免除となり、第1回入試に不合格となった者については、第2回入試に係る語学（英語）試験免除の書類を免除します。

- ④本学医学部医学科の卒業生で「大阪大学MD研究者育成プログラム」を修了した者及び本学医学部医学科の卒業見込み生で「大阪大学MD研究者育成プログラム」における修了発表会を語学（英語）試験日までに終える者で、別紙「2025年度博士課程専門科目等一覧」において『◇』が付された専門科目を志願する者
- ・専門科目試験及び面接、出願書類等を総合して合格者を決定します。
 - ・入学願書の「大阪大学MD研究者育成プログラム修了（見込）者」欄にチェックを付け、本学医学部医学科在籍時の学籍番号を記入してください。

8. 試験科目及び試験日時

(1) 専門科目及び面接

入学願書受理後、志願する専門科目の各教室において適宜実施します。試験日時・内容等詳細については、各自、志望教室に照会してください。

(2) 語学（英語）

- (注1) 語学試験においては辞書（語学辞書1冊に限る。医学辞典、生化学辞典等の持ち込みは認めません）の持ち込みを許可します。ただし、電子辞書は許可しません。
- (注2) 受験者は、試験開始30分前に医学部講義棟に集合し、指定の座席に着席してください。
- (注3) 試験場に入場する際、本人確認のため、受験票を提示してください。なお、受験票は第1回入試については2024年9月13日（金）、第2回入試については2024年12月13日（金）に簡易書留郵便で発送予定です。発送予定日から6日以内に受験票が届かない場合は医学系研究科教務課学生支援係へ問い合わせてください。

9. 合格者発表

本要項1ページに記載の日程の13時30分以降に本研究科ウェブサイト (https://www.med.osaka-u.ac.jp/admission/admission_doctor) へ合格者の受験番号を掲載するとともに、合格通知書を出願時に提出された「あて名票」の住所へ簡易書留郵便で送付します。同日までに転居等による合格通知書の送付先の変更が必要な場合は、合格発表の10日前までに医学系研究科教務課学生支援係へ申し出てください。

(※不合格者への通知は行いません。)

なお、合否の問い合わせには応じません。

10. 入学料及び授業料（2025年度予定）

入学料 ・ ・ ・ ・ ・ 282,000円

授業料〔前期・後期共に〕 ・ ・ ・ 267,900円（年額535,800円）

- * 入学料・授業料の金額については変更することがあります。
- * 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
- * 本学修士（又は博士前期）課程を2025年3月修了見込みの者は、入学料を納入する必要はありません。
- * 国費外国人留学生として入学する者は、入学料、授業料を納入する必要はありません。

大阪大学では、研究力の強化と留学生の受入増進のために大学院入学試験において優秀であると認められる私費外国人留学生に対する授業料免除制度（特待留学生授業料免除）を実施しています。この入試は特待留学生授業料免除の対象となっております。本入試に合格し、優秀と認められた留学生は本制度による授業料免除の候補者となります。

1 1. 入学手続

第1回入試合格者及び第2回入試合格者の入学手続期間は2025年3月初旬の予定です。

入学手続関係書類は、合格者に対して2025年2月中旬に、出願時に提出されたあて名票記載の住所に簡易書留郵便で郵送します。

- * あて名票には、確実に受取が可能な日本の住所を記載し、出願後に住所変更等がある場合はすみやかに医学系研究科教務課学生支援係に連絡してください。
- * 入学手続関係書類にて指示された所定の期間内に入学手続を行わない場合は、理由の如何を問わず入学を辞退したものとして取り扱います。
- * 本研究科は医師初期臨床研修中の者の入学を認めていないため、該当者は入学時までに臨床研修の休止又は中止が必要です。ただし、基礎系の専門科目（別紙「2025年度博士課程専門科目等一覧」において『●』が付されたもの）を志願し、大阪大学医学部附属病院の「大阪大学総合コース」、「大阪大学MD研究者育成研修コース」および「協力型研修病院・大阪大学コース」のプログラムを受けている者でかつ入学後の初期臨床研修が大阪大学医学部附属病院のみで実施される者は、最長2年間初期臨床研修との兼務が可能です。詳細は、志望する教室に確認してください。
- * 他大学及び大阪大学の他の学部・研究科等（以下「他大学等」という）に在籍したまま本研究科に入学することはできません。本研究科入学に際し、他大学等を離籍するための必要手続きについては離籍する他大学等に確認してください。なお、本研究科入学後に他大学等の離籍を証明する書類（退学証明書、卒業証明書 など）の提出が必要となります。

1 2. 入試成績の開示

入試成績については、受験者本人からの請求に基づき、語学（英語）試験の点数を開示します。

《請求期間》 ※下記期間消印有効

第1回入試 2024年11月19日（火）～11月22日（金）

第2回入試 2025年 2月25日（火）～ 2月 28日（金）

《請求方法》

「博士課程入学試験個人成績開示請求」と朱書きした封筒に下記の書類を封入のうえ、医学系研究科教務課学生支援係宛てに請求してください。

- ・ 入学試験個人成績開示請求書（所定様式）
本研究科ウェブサイトからダウンロードしてください。（合格発表に併せて掲載予定）
https://www.med.osaka-u.ac.jp/admission/admission_doctor
- ・ 該当する入試の受験票
- ・ 請求者（受験者本人）の郵便番号、住所、氏名を明記し、434円分の切手を貼付した長形3号の封筒

1 3. 留意事項

- (1) 第1回入試に合格しなかった者も第2回入試に出願することができます。
- (2) 出願書類に虚偽の記載があれば、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- (3) 見込みの出願資格で出願した者が、2025年3月31日までに当該資格を取得できなかった場合は、入学を認めません。
- (4) 障がい等のある者で、受験及び修学に際して特別な配慮を必要とする者は、本要項1ページに記載の各回出願期間開始日の7日前までに医学系研究科教務課学生支援係へ申し出てください。
- (5) 出願手続後は、入学願書等の記載事項の変更は認めません。
- (6) 提出された出願書類についてはいかなる理由があっても返却しません。
- (7) 納入済の検定料は、次の場合を除き返還できません。
 - ① 出願したが受験資格がなかった場合
 - ② 出願書類受付期間後に出願書類が到着し、受理されなかった場合
 - ③ 出願書類に不備があり受理されなかった場合
 - ④ 検定料を払い込んだが出願しなかった場合
 - ⑤ 検定料を誤って二重に振り込んだ場合上記に該当し返還を希望する場合は、下記ウェブサイトの記載に従って、医学系研究科教務課学生支援係 (i-kyomu-gakuseishien@office.osaka-u.ac.jp)宛て請求してください。
- (8) 受験の際は、受験票を必ず持参してください。なお、受験票は、入学に関する諸手続の際にも必要なので、合格後も紛失しないよう保管しておいてください。
- (9) 受験のための宿泊施設等の斡旋はしません。
- (10) 自動車及び自動二輪車（原動機付自転車を含む）での大学構内への入構はできません。
- (11) 本研究科博士課程の在学中に優れた研究業績を上げた者については、本研究科委員会により、3年以上の在学をもって早期修了を認めることがあります。
- (12) 災害や感染症の拡大などの緊急事態の発生に伴う入学試験への影響とその対応につきましては、必要に応じて本研究科ウェブサイトに掲載しますので、各自で必ず確認してください。
- (13) 過去問題（2年分）を郵送により請求する場合は、医学系研究科ウェブサイト（下記参照）より「過去問題の請求方法」を確認のうえ、所定の方法によりご請求ください。

大阪大学医学系研究科ウェブサイト
https://www.med.osaka-u.ac.jp/admission/admission_doctor

1 4. 個人情報の取扱いについて

- ・ 出願時に提出された氏名、住所、その他の個人情報については、「入学者選抜（出願処理、選抜試験実施）」、「合格者発表」及び「入学手続」等の入試業務を行うために利用します。なお、合格者については、入学後に履修可能なプログラムの案内を行うために利用することがあります。また、入学者については、「教務関係（学籍管理、修学指導）」、「学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）」及び「授業料収納に関する業務」を行うためにも利用します。
- ・ 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、「入試結果の集計・分析」、「入学者選抜方法の調査・研究」及び「学生支援関係（奨学金業務等）」のために利用します。なお、合格者については、「入学後に履修可能なプログラムの履修者選抜」に利用することがあります。
- ・ 上記の業務を行うにあたり、一部の業務を外部の事業者へ委託する場合があります。この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだ上で、当該事業者に対して、提出された個人情報の全部または一部を提供します。

がん専門医療人材養成プラン（がんプロ）教育コースについて

我が国の死亡原因は依然としてがんが最多であり、がんの予防や治療と並行してがんと共に生きる社会を作っていくことが重要です。がんの専門医療人材の不足を改善するため平成19年に制定された「がん対策基本法」第14条に定められた「がん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師等の養成を図るために必要な施策」として、文部科学省は平成20年度より「がんプロフェッショナル養成プラン（第1期）」の教育事業を開始しました。平成24年度からは「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン（第2期）」として発展的に継続し、平成29年度から令和3年度までは「多様な新ニーズに対応するがん専門医療人材養成プラン（第3期）」として、ゲノム医療、小児・希少がん、ライフステージの分野も加わった多様な人材養成を行ってきました。令和4年度はクラウドファンディングにより本事業を継続し、がん専門医療者の専門知識の拡充、職種の枠を越えた他職種連携の強化を目指し、多くの学生や医療者に対して本コースの教育プログラムを提供して参りました。令和5年度からは、がん医療の急速な高度化に対応できる、高度医療人材の養成を目指し、「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン（第4期）」がスタート致します。がんの先進的な研究によって新たな治療法を開発できる人材、病理・放射線治療の専門医、がんの痛みやがんサバイバーの心に寄り添える緩和医療に精通した医療人、医療ビッグデータを扱いがん予防対策の分野で活躍できる人材、などの養成を求められており、新たに複数のコースを新設し、より専門性の高い多様ながんプロフェッショナル人材の養成を目指します。

本教育コースでは、がんに関する基礎・臨床研究を実施して学位を取得するとともに、それぞれの分野の専門医・専門スタッフあるいは研究者を目指し研修します。キャンサーボードを初めとする種々の多職種連携、多大学連携のプログラムにも参加し、がんのチーム医療のリーダーとして、今後の日本のがん医療の発展に貢献する人材に育てていただくことを期待します。

がん医療に興味のある方は是非、がんプロコースへの参加を検討してください。所属の講座とは別に、副カテゴリーとして登録して頂くこととなります。がんプロコースでは専門課程以外でがんについての横断的な学習の機会を得ることができます。また関西の4つの大学（京都府立医科大学、奈良県立医科大学、和歌山県立医科大学、兵庫県立大学（看護学））と連携し本事業を推進してまいります。

大阪大学大学院医学系研究科で実施するがんプロ教育コース：担当者（所属講座）は以下です。

- | | |
|---------------------------|--|
| 1) 病理専門医コース | : 森井 英一 (病態病理学) |
| 2) 脳腫瘍先端研究コース | : 貴島 晴彦 (脳神経外科学) |
| 3) 消化器内科コース | : 竹原 徹郎 (消化器内科学) |
| 4) 外科先端研究コース | : 土岐 祐一郎 (消化器外科学) |
| 5) 放射線治療医・研究者養成コース | : 小川 和彦 (放射線治療学) |
| 6) 肺がん研究コース | : 熊ノ郷 淳 (呼吸器・免疫内科学) |
| 7) 血液・腫瘍内科先端研究コース | : 保仙 直毅 (血液・腫瘍内科学) |
| 8) 腫瘍循環器学コース | : 坂田 泰史 (循環器内科学) |
| 9) 緩和医療専門医育成コース (人数制限あり) | : 松田 陽一 (麻酔科) |
| 10) がん薬物療法専門医コース (人数制限あり) | : 水木 満佐央 (複数科連携: 消化器内科学、血液・腫瘍内科学、呼吸器・免疫内科学、乳腺内分泌外科学など) |
| 11) 乳がん研究コース | : 島津 研三 (乳腺・内分泌外科学) |
| 12) 婦人科学がん研究コース | : 澤田 健二郎 (産科学婦人科学) |
| 13) 老年腫瘍学コース | : 山本 浩一 (老年・総合内科学) |
| 14) 腫瘍腎臓病学コース | : 猪阪 善隆 (腎臓内科学) |
| 15) 小児がんサバイバー支援コース | : 宮村 能子 (小児科学) |

その他、講義、実習での協力科：呼吸器外科学（新谷 康）、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学（猪原 秀典）、精神医学（池田 学）、泌尿器科学（野々村 祝夫）

*新入生の受け入れに関しては、コースにより異なりますので、希望者は出願に先立ち、各担当者に問い合わせてください。

（代表電話 06-6879-5111 ※各所属教室（上記かつこ内）・担当者名を伝えてください。）

（注）博士課程出願時の「志望専門科目」及び「担当教員」は別紙「2025年度博士課程専門科目等一覧」に記載された専門科目と担当教員から選択する必要があります。

がんプロ教育コース各担当者及びその所属とは一致しない場合があります。ご注意ください。

○がんプロに関する問い合わせ先

事務的な事項： がんプロ事務局 lfsuwt2nr ze tkkhj3xfpf2z3fh3u

個別のコースに関する事項： 担当 山本浩文 m~fr fr tytE xfmX3r ji3xfpf2z3fh3u

大学の世界展開力強化事業

「グローバル社会における健康問題解決を担う医学・公衆衛生学研究リーダーの育成プログラム (キャンパスアジアプログラム)」について

「グローバル社会における健康問題解決を担う医学・公衆衛生学研究リーダーの育成プログラム」は、東アジアにおいて複雑化する健康課題の解決のため、グローバルヘルスの視点から健康課題の解決力を持つ人材の育成を目指す。健康課題解決に貢献できる世界的な研究者を育成し、最先端の研究知見を生みだし、あるいは活用できる人材育成を目指す。更に共通の課題解決のためのコミュニケーション力を持ち、課題解決の実行力とリーダーシップを発揮できる、グローバルヘルス・リーダーの育成を目標とする。

大学院修士・博士課程での短期・中期・長期の多層的交流プログラムと大学院博士課程でのダブル・ディグリーを目指した教育プログラムにより、将来、自国の専門家や大学の教員にとどまらず、他国の参加大学やその他の研究大学の教員、日中韓タイの公的研究所や国内外の健康関連企業の研究者、国内の行政機関やWHO等の国際行政機関の構成員への道を開きます。日中韓タイの参加大学共通の交流プログラムで留学する学生には、本プログラムから渡航費・滞在費（授業料は不要）を支援します。2019年度から、医学系としては日本・中国・韓国いずれも初の博士課程のダブル・ディグリー制度が開始され、大阪大学から延世大学に2名が、大阪大学へは北京大学から2名、延世大学から1名がそれぞれ留学しています。2022年度には日中で初めての医学分野におけるダブルディグリープログラムでの博士号取得者が誕生しました。

プログラム修了生は、同窓会等を通じてグローバルなネットワークを組み、特に東アジアにおける健康問題の解決にあたることを期待されます。東アジアでの健康医療問題の解決は、東アジアに次いで少子高齢化が進むとされる中央アジアやアフリカ諸国においても応用できます。

大阪大学は、生活習慣病、認知症の基礎・臨床・公衆衛生学研究において世界トップクラスの実績をあげており、日本は国民皆保険制度のもとで中高年期における生活習慣病の減少、健康寿命の延伸を実現しました。中国の参加大学（北京大学・清華大学・上海交通大学・天津中医药大学・広東薬科大学）は、大阪大学と同様、老化制御に関する基礎研究、公衆衛生研究、漢方薬の新規有効成分の探索において、韓国の参加大学（延世大学）は、老化制御に関する基礎研究や、国民総背番号制度のもとでの大規模な疫学研究と研究倫理に関してトップクラスの研究を進めています。さらにタイのマヒドン大学は感染症対策ならびに感染症疫学のメカニズム解明の分野において世界をリードしています。

日中韓タイの4か国は、仏教、儒教等の影響を強く受けながら、欧米とは異なる独自の文化を育んできたことから、東アジアトップクラスの大学のコンソーシアムを形成することで、欧米の直線的な論理思考能力を理解・体得しながらも、調和性・包括性・融合性の観点や柔軟な思考能力を有する、問題解決型医学研究者の育成を目指します。

※問合せ先

TEL : 06-6879-3914

FAX : 06-6879-3919

E-mail : campus_asia@pbhel.med.osaka-u.ac.jp

卓越大学院プログラム「生命医科学の社会実装を推進する卓越人材の涵養」について

生命医科学の最高到達点は、ヒトの生命活動を解明することにあります。そのためには、卓抜した基礎研究成果を、厳格な倫理観のもとで社会実装し、豊かな社会を創造するとともに、そこで生じた新たな研究課題をアカデミアに戻し、その解決のためにさらに研究を進めるという研究開発エコシステムを円滑に循環させる必要があります。このため、卓抜した研究成果をあげるとともに生命医科学を俯瞰できる「研究実践力」と、その成果を社会応用する「社会実装力」の両者を兼ね備えた博士人材を育成せねばなりません。

日本のアカデミアにおける新規ライセンス件数は米国の約40%に達しています。一方、ライセンス収入は米国の1%程度という現状です。このことは研究成果を社会実装しきれていないこと、研究開発エコシステムを十分機能させていないことを示しています。

このことから、我が国において生命医科学の研究成果を社会実装する人材の育成が急務です。従来のように視野の狭い研究のみにとどまっていたのでは発展は望めません。いわんや、ヒトの生命活動の解明などは及びもつきません。しかし、社会実装のノウハウを鍛えただけの人材では研究の目利きができないため、研究成果の独創性、優位性を目利きする能力をもつ人材が社会実装力を身に付けることが必要です。本当の社会実装の能力は、主体的に研究成果をあげた経験のある人でないと身に付けることは困難です。

本プログラムでは、アカデミア、国内外の企業、行政が一体となって、国際競争に打ち勝ち優位性のある研究成果を挙げる研究実践力と、自らの研究成果を迅速にまた効果的に社会に還元していく社会実装力の両者を兼備した人材の涵養を図ります。

本プログラムで養成する人材は、

- ・卓抜した研究成果をあげるとともに生命医科学を俯瞰できる「研究実践力」と、その研究成果を社会応用する「社会実装力」を兼備した博士人材
- ・研究成果の優位性、発展性を学術的に的確に分析し、その成果が有する社会実装ポテンシャルを知財、市場性、規制科学など様々な角度から分析し社会実装を推進することにより、研究開発エコシステムをまわすことのできる卓越人材

です。俯瞰力の養成のため、大阪大学独自の文理融合教育も実施します。

◆ 履修方法

各専攻の教育のための授業科目と本プログラム固有の授業科目を組み合わせた独自のカリキュラムを履修します。必要単位数の負担は通常のカリキュラムとほぼ同じです。

本学大学院の以下の研究科（専攻）の2025年度入学予定者に対し、本プログラム独自の選考を行います。本プログラムの選考に合格した場合は履修が許可されます。

【4年制コース】

医学系研究科医学専攻（博士課程）
薬学研究科医療薬学専攻（博士課程）
歯学研究科口腔科学専攻（博士課程）

【5年制コース】

医学系研究科保健学専攻（博士前期課程）
薬学研究科創成薬学専攻（博士前期課程）
生命機能研究科生命機能専攻（一貫制博士課程）

※問い合わせ先

大阪大学 医学系研究科卓越大学院生命医科学の社会実装プログラム事務局

E-mail: takuetsu-jimu@office.med.osaka-u.ac.jp

<https://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/bei/>



本プログラムの詳細、応募方法等は、
Webサイトに掲載しております。
左のQRコードにアクセスして
ご覧ください。